

星の世界の歩き方①

みなさんは「道に迷ってしまった」なんて経験はありませんか？普段、私たちが道に迷わずに目的地にたどり着けるのは、目印を知っているからでしょう。例えば、建物や道路標識、地図などです。このように目印となるもの、道案内をしてくれるものを利用すれば、道に迷わずにすむわけです。

星の世界も同じです。何の目印も知らず、案内役も持たずに星の世界を散歩すると、すぐに道に迷ってしまいます。迷子にならずに星空散歩を楽しむためには目印となる星、案内役となる星を見つけることです。これから一緒に星の世界の歩き方を覚えていきましょう。

1. 方角を知ろう

星の世界を歩く時は、まず一番初めにしなければならないことがあります。それは自分の立っている場所での方角を知ることです。方角は方位磁石を使ったり、地理的な関係から知ったりできますが、星を使って知ることもできます。そうです、“**北極星 (Polaris)**”という名前の星を見つけることです。星は時間が経つと東から西へと動いていきます。しかし、この北極星は一年中、昼も夜も北の空にあって、そこから動きません。つまり、「北極星がある方角が北である」ということになります。これを知っておけば、北極星におへそを向けて、正面が北、右が東、左が西、後が南ということが分かります。これは北極星が見えていれば世界中のどこでも同じことが言えます。どこか知らない場所に行く機会があれば、ぜひ試してみてください。

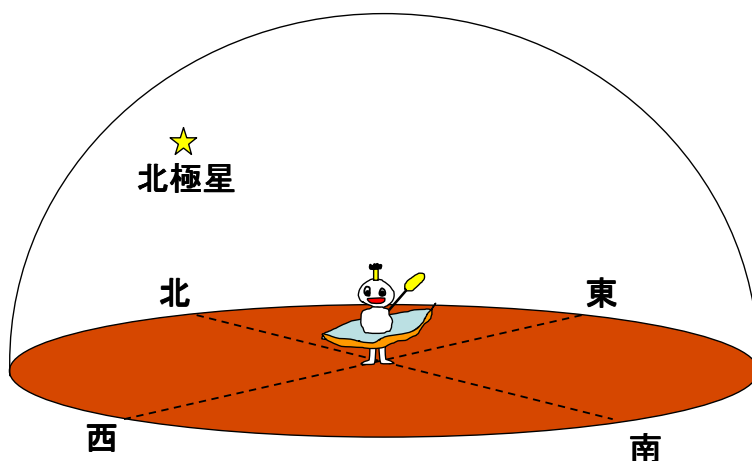


図 1-1 北極星と方角

2. 北極星を見つけよう

では、一緒に北極星を探してみましよう。ここでは、“北斗七星 (Big Dipper)” を使った見つけ方を紹介します。

北斗七星はおおぐま座の尻尾の部分にあたり、スプーンの形に星が並んでいます (北斗七星とは「北にあるひしゃくの形をした七つの星」という意味です)。図2のような星の並びを探し、スプーンの柄とは反対側にある2つの星 (指極星 (Pointers) と言います) を結びます。その線をスプーンの表側に向かって延ばしていくと1つの星にぶつかります。これが北極星です。

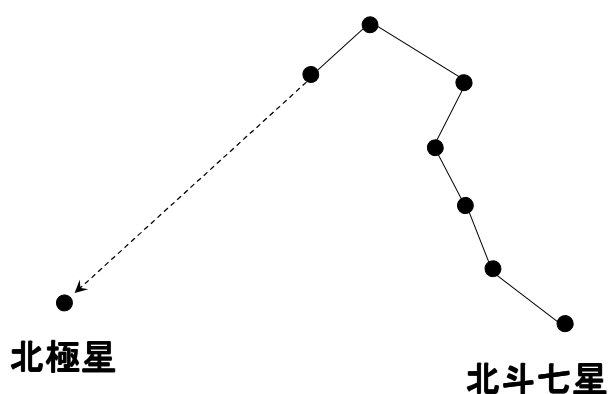


図 1-2 北極星の見つけ方

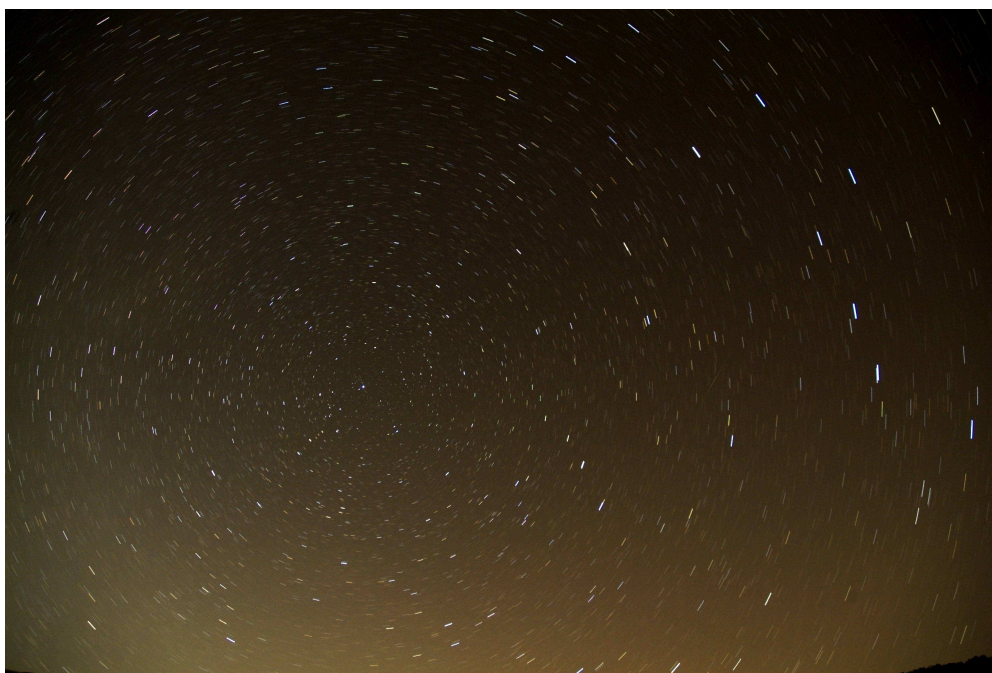


図 1-3 北の空の星の動き